

科目名		産業医学実装科学特論	
科目責任者	川波 祥子	(産業医実務研修センター 教授)	
担当者	喜多村 絃子	(産業医実務研修センター 准教授)	
開講時期:	1年次後期	単位数:	4 単位
		時間数:	90分× 30 回
<p>● 科目の教育目標</p> <p>一般目標 (GIO)</p> <p>産業医学領域における健康上、労働衛生上の課題と現状を広く学び、疾病予防や健康の保持増進、就業環境の快適化等を目的とした予防介入や改善活動をについて理解する。また、これらの介入を促進するための体系的アプローチの手法として産業医学実装科学の理論の基礎を学ぶ。</p> <p>行動目標 (SBOs)</p> <ol style="list-style-type: none"> <li>1) 産業医学領域での健康上、労働衛生上の課題の歴史的変遷を概説できる。</li> <li>2) 現状の産業医学領域での健康上、労働衛生上の課題を説明できる。</li> <li>3) 職域で行われる予防介入や改善活動例を例示できる。</li> <li>4) 職域で予防介入や改善活動を実施するためのプロセスを説明できる。</li> <li>5) 産業医学領域における基本的な調査研究の進め方を説明できる。</li> <li>6) 実装科学研究の基本的概念を理解し、説明できる。</li> <li>7) 実装科学研究における介入促進のための体系的アプローチを説明できる。</li> <li>8) 予防介入や改善活動の実践に必要な教育技術の基礎を理解している。</li> <li>9) 職域で研究を行う際の倫理的事項について理解している。</li> <li>10) 職域で研究を行う際の個人情報の管理について理解している。</li> </ol>			
● 評価方法	講義参加状況60%、討論20%、発表・レポート20%で総合評価する		
● 参考文献	講義の中で必要に応じ紹介する		

● 授業スケジュール

回	項目	内容	担当教員
1・2	産業医学実装科学Ⅰ	疾病予防と健康保持増進	川波喜多村
3・4	産業医学実装科学Ⅱ	有害業務作業者の健康問題	川波喜多村
5・6	産業医学実装科学Ⅲ	就業環境の快適化	川波喜多村
7・8	産業医学実装科学Ⅳ	予防介入、改善活動の実際	川波喜多村
9・10	産業医学実装科学Ⅴ	介入研究のための基本的事項	川波喜多村
11・12	産業医学実装科学Ⅵ	文献調査の方法	川波喜多村
13・14	産業医学実装科学Ⅶ	倫理的課題と情報管理	川波喜多村
15・16	実装科学研究Ⅰ	実装科学総論	川波喜多村
17・18	実装科学研究Ⅱ	実装科学研究のフレームワークⅠ	川波喜多村
19・20	実装科学研究Ⅲ	実装科学研究のフレームワークⅡ	川波喜多村
21・22	実装科学研究Ⅳ	介入のプロセスと評価Ⅰ	川波喜多村
23・24	実装科学研究Ⅴ	介入のプロセスと評価Ⅱ	川波喜多村
25・26	教育設計学Ⅰ	産業保健における教育	川波喜多村
27・28	教育設計学Ⅱ	健康教育	川波喜多村
29・30	教育設計学Ⅲ	労働衛生教育	川波喜多村